

ヤンバルクイナ(2007/4/18)の咬傷部位からのDNA抽出



頸部

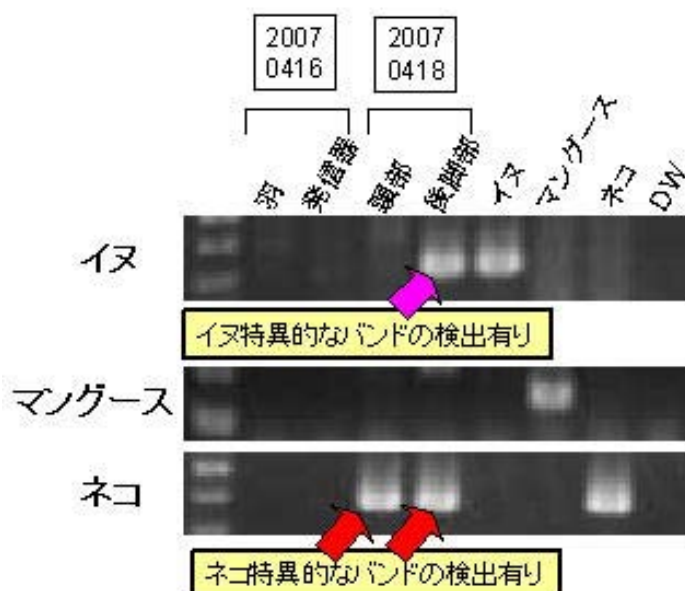


後脚部

頸部及び後脚部の損傷部位の体毛を採取し、DNAの抽出を行った。



ヤンバルクイナの捕食者判別



《結果》
20070416個体から抽出したDNAからは、どの捕食者のDNAも検出することはできなかった。

20070418個体から抽出したDNAからは、頸部DNA及び後脚部DNA両方からネコ特異的なDNAを検出することができた。また、後脚部DNAからイヌ特異的なDNAを検出することができた。

ネコDNAは1st PCRから検出され、イヌDNAは2nd PCRから検出された。これはイヌDNAが非常に微量であることを示す。